



優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

ふれあいネットワーク

まほろば

社協広報

第94号



誰もが気軽に集える場所 ～よりましよ家inすばる～

体験やふれあい活動を通して、社会との関りや心の拠り所になる場所をつくりたい。誰でも気軽に立ち寄れて、子どもから高齢者まで色々な世代の方と交流ができる場。そんな居場所を、地域の皆さんと一緒につくりたいと考えています。

10月はジャック・オー・ランタン作り、11月はパン工場の見学をしました。

よりましよ家の活動について詳しくは、3ページをご覧ください。

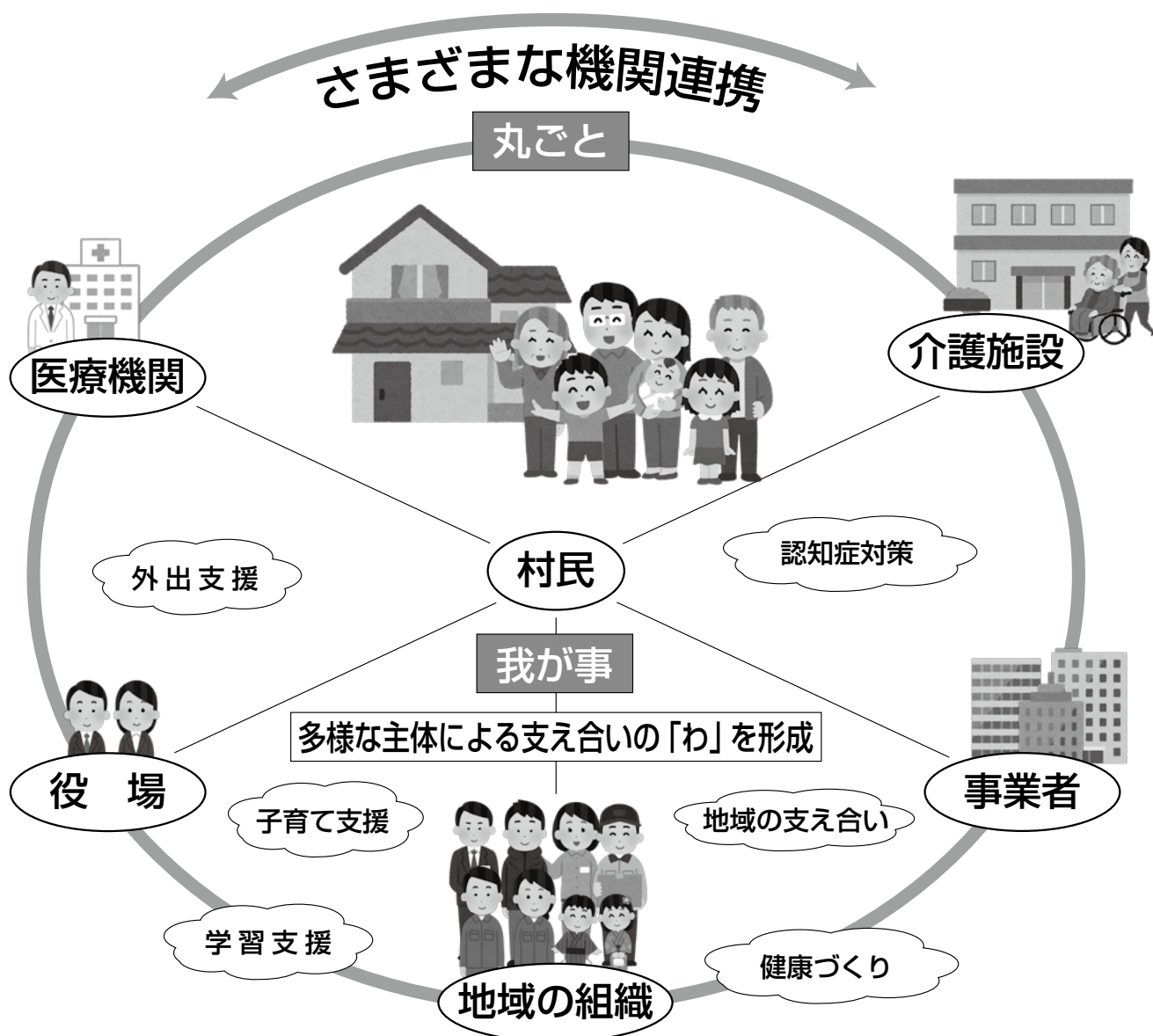
我が事、丸ごと『地域共生社会』	1・2
誰でも気軽に立ち寄れる居場所を～よりましよ家inすばる～	3
毎年大好評！今年度も川柳を募集します！	4
令和3年度 長野県社会福祉協議会 会長表彰 ／いざという時に備えて！避難訓練	5
おさがりユース/山形村ボランティアセンターからのお知らせ	6
赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動の実施結果 ／たのみま処 あなたの協力が必要です!!	7

特集

我が事、丸ごと

ここ近年、『地域共生社会』という言葉を目にする機会があると思います。皆さんはその言葉の意味をご存知でしょうか。簡単に説明しますと、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民をはじめ、地域のさまざまな担い手が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながること。すべての住民一人ひとりが生きがい感を持って、幸せに暮らすことができる地域を共に創っていく社会のことを、『地域共生社会』といいます。

今回は特集として、『地域共生社会』の実現に向けて、山形村社会福祉協議会で取り組んでいる事業の一部を、紹介させていただきます。



『地域共生社会』

山形村社会福祉協議会が取り組む共生社会

地域に住む人同士がつながりを持ち、それぞれが役割を持って支え合い、生活することで、だれもが孤立せずその人らしい生活を送ることができる社会をつくろうという考え方です。

社会福祉協議会の支援の仕方から見る地域共生社会に向けた取り組みとしては、『世帯支援』と『支え合いの地域づくり』の2つの見方をすることができます。

『世帯支援』とは、「高齢者」「障害者」「子ども」といった分野ごとの「縦割りの支援」ではなく、世帯全体に寄り添い、継続的な支援を行うことです。『支え合いの地域づくり』とは、「支え手」「受け手」といった一方からの関係性だけでなく、支え合いの地域をつくることで、共に生きる社会をつくっていくという取り組みです。

私たちは、これからも地域で暮らす方々の困りごとに寄り添い、支え合う地域づくりを社会福祉協議会全体で取り組みます。

地域共生社会の実現に向けて、社会福祉協議会で取り組んでいる事業

(社会福祉協議会の取り組み①)

現在、障害福祉事業の制度が変わり、介護保険事業のデイサービスにおいて、障害者のデイサービスである「生活介護」を同時に運営することができるようになりました。そのため、デイサービスセンター一いちの里では、高齢者だけでなく、若い世代の障害者の方も利用しています。

高齢者だけでなく、障害者も一緒に同じ空間で過ごし、同じ職員が支援にあたることができる。こうした制度を柔軟に運営できるようになったのも、地域共生社会の実現に向けた大きな動きといえます。



(社会福祉協議会の取り組み②)

地域共生社会の実現は、一方で「支え合いの地域をつくる」取り組みでもあります。

今年からはじまった「よしましよ家inすばる」も、取り組みのきっかけは「出張ワンコインぐるぐる弁当」に協力いただいている方からの相談です。

子どもだけでなく、地域みんなが寄り集まって一緒に体験したりする場をつくりたい、そんな想いが実を結ぶ場づくり。

支える側・支えられる側。そういった関係性だけでなく、支え合いの地域をつくることも地域共生社会の実現に大きな役割を果たします。



誰でも気軽に立ち寄れる居場所を～よりましょ家inすばる～



10月は晴れた秋空の下でランタンづくり



「皆でジャック・オー・ランタンを作りたいね」ということで、ランタンづくりを行いました。企画の際は、いただいた坊ちゃんカボチャでランタンを作ろうかと考えていましたが、ちょっと硬い…。「ランタンを彫る時にカッターや包丁が入るかな…？子どもたちが作る時にケガをしないように」と考え、地域の方に相談すると、「コリンキーというサラダカボチャがあるよ」と、オレンジ色のカボチャを寄付していただきました。

当日は子どもから大人まで、まずは皆でちょっと体を動かしたり、自己紹介をして緊張を和らげたら、おいしいお弁当を食べて、いざ、ランタンづくり！

「この形なら顔が彫りやすいかな」「私はこれにする！」と、それぞれ好きなカボチャを選び作業開始！！2つ、3つとそれぞれ違う顔を書いて作る方や、1つのカボチャを少しずつ、慎重に彫刻刀で形をくり抜いている方など、皆さん真剣に作っていました。大人たちが黙々と作業する中、作り終わった小・中学生のお兄ちゃんたちが、未就学児の子どもたちと一緒に遊んでいる、ほっこりする姿を見ることもできました。



11月は『アサヒ酵母』さんへパン工場の見学♪



いつもパンを寄付してくださるアサヒ酵母さんから「小・中学校へ出しているパンを作っているところを見学できるよ」と声をかけていただきました。工場の中へ入ると、生地をコッペパンの形に成形している所や、パンを発酵させている所。発酵したパンがオーブンの中で焼かれて、焼きあがったパンがベルトコンベアで冷まされる所などを見学しました。オーブンの所へ行くと、パンの焼けるいい匂い。思わず皆で「いい匂いだね～。」「お腹空いてきちゃうね。」と笑顔で話していました。

…その後は、松ぼっくりなどの秋を探しにスカイパークへ！…

松の木の下を重点的に探し「なかなか大きいのは見当たらないな～。」「これ、形がきれいだね。」と、1箱分の松ぼっくりが集まりました。時々「木の所には大きい松ぼっくりがあるのにね～。落ちてこないねえ。」と松の木を見上げる姿がありました。



今後は拾った松ぼっくりを使ってお正月飾りを作ったり、様々な企画を考えています。興味のある方はぜひ、私たちと一緒によりましょ家をつくりませんか？

毎年大好評！今年度も川柳を募集します！

昨年度も好評だった川柳作品展を、今年度も行います。今回も「一般の部」と「小学生以下の部」と分けて作品を募集します。

テーマ『希望』

日常生活の中で「こうなったらいいな」「こうなりたい」という想いや願い、望みなど、テーマに関連していればどんな内容でもOKです！

自分の進む道を明るく灯してくれる希望。そんな希望を川柳にしてみませんか？

(例) コロナ明け マスクなしで 会う君と

作品の応募について

12月に配布した専用の申込用紙に記入し、山形村社会福祉協議会窓口へ、直接お持ち込みいただくか、またはFAX・メールにてご応募ください。

応募締切

2022年1月21日(金)まで

投票について

投票期間中、村内の各施設・店舗等に投票箱を設置し、投票を受け付けます。

投票期間 2022年2月8日(火)～2月22日(火)

結果発表・表彰について

投票にて選ばれた優秀賞4句を2022年3月1日(火)の昼12時に、本会ホームページと、投票箱の設置場所にて発表いたします。

優秀賞には表彰と賞品があります。表彰式は後日開催します。

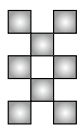
※詳しくは12月に配布した川柳募集のチラシをご覧ください。



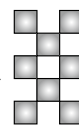
令和3年度 山形村福祉のつどい中止のお知らせ

毎年開催しております『山形村福祉のつどい』は、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、大変残念ではありますが、今年度の開催は中止とさせていただきます。

来年度は、新型コロナウイルス感染症対策を施しながらできる、福祉のつどいを検討していきたいと考えています。ご参加を楽しみにしていただいた皆様には大変申し訳ありませんが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。



令和3年度 長野県社会福祉協議会 会長表彰



11月13日(土)、オンライン配信で信州ふっころフェスティバルが開催されました。

表彰式では、福祉の各分野でご活躍された方の表彰が行われ、山形村社会福祉協議会からは、以下の2名が表彰されました。【敬称略】

- 中村 一博 (社会福祉協議会役員功労表彰)
- 中嶋めぐみ (永年勤続者表彰)

※表彰基準

- ・社会福祉協議会役員功労表彰…社会福祉協議会の役員にあつて、その在職期間が10年以上の者。
- ・永年勤続者表彰…社会福祉協議会の職員にあつて、25年以上勤続した者。

(令和3年4月1日時点での推薦)



写真は、11月30日(火)山形村保健福祉センターいちいの里にて、表彰状の贈呈式を行なった時の様子です。

いざという時に備えて！避難訓練



10月27日(水)にいちいの里すばるにて、11月10日(水)にはデイサービスセンターいちいの里にて、避難訓練を行いました。

いずれも厨房からの出火を想定し、利用者さんを避難させ、消火訓練などを行いました。

訓練が始まると、利用者さんも職員と一緒に落ち着いて避難していました。

避難後に消防職員さんの話を聞き、「訓練は大事だね」「安全が確保できていて安心だね」などの声が利用者さんから聞かれました。



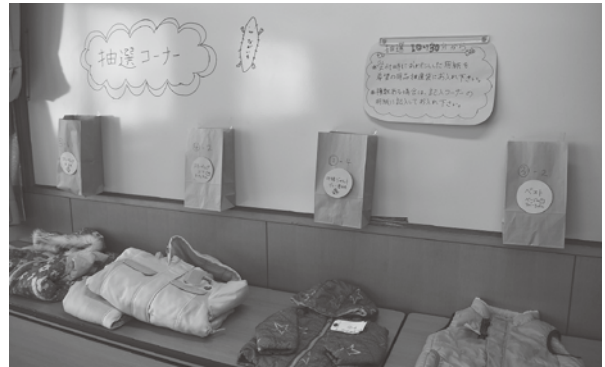
おさがリユース

「子供服はすぐサイズが合わなくなっちゃう」「スキーウェア等の冬服は値段が高くて…」といったお母さんたちからの声を受けた、山形村地域おこし協力隊の大野和美さんから声をかけていただき、『おさがリユース』を共同で開催しました。

当日は大人と子ども14組、計21名が会場に訪れました。会場では、サイズごとに並べられた服を手にとって、一緒に来た子どもに服を合わせたり、自由に服を持ち帰ったり、お母さん同士で情報交換している姿がありました。

参加された方からは「とても助かります。」「今回は服をもらったので、次回は提供したい。」「ぜひ続けて欲しい。」という声がありました。

今後こういった機会が、地域での支え合い・助け合いの輪が広まっていくきっかけになればと感じました。



山形村ボランティアセンターからのお知らせ

山形村ボランティアセンターでは、生活にお困りの方へ地域の皆さんから寄付していただいた、子供用品のお譲り先を探しています。

チャイルドシート (茶色) 1台	チャイルドシート (グレー) 1台	自転車 (補助輪付) 1台
		

お問い合わせ先

山形村ボランティアセンター (山形村社会福祉協議会)
電話：97-2102 平日8時30分～17時30分

あたたかな善意、ありがとうございます



赤い羽根・歳末たすけあい 共同募金運動の実施結果



令和3年度／赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動を、11月1日から11月30日にかけて実施したところ、下表のような実績となり、全額を長野県共同募金会へ送金します。この募金は、その一部が令和4年度において、配分金として山形村社会福祉協議会へ交付され、村内の福祉事業（指定福祉活動支援助成金等）に充てられます。

総合計 **1,863,396円**

令和3年12月14日現在（単位：円）

上大池	中大池	小坂	下大池	上竹田	下竹田	連絡班外	職域	山形小学校	村内公共施設等	募金総額
218,000	165,000	377,500	188,000	479,000	401,000	1,200	20,587	10,111	2,998	1,863,396

山形小学校

ボランティア委員会の24名の皆さんが順番に3カ所の昇降口に立ち、11月22日～25日までの3日間、毎朝7時45分～8時まで赤い羽根共同募金の呼びかけをしてくださいました。全校児童から集まった募金は、委員長の古箭さん、副委員長の鈴木さん、書記の百瀬さんより寄付していただきました。皆さん、ご協力ありがとうございました。



あなたの協力が必要です!!

雪かき



草取り



ゴミ出し



など…

『有償在宅福祉サービス たのみま処』は、高齢者や障害者の方が安心して山形村での生活を続けられるように、地域のちょっとしたお手伝いで支え合い・助け合いを行なっています。山形村も高齢者世帯や、高齢者の一人暮らし、障害者世帯が増えています。

「地域のために何かやりたい」「自分が培ってきた技を活かしたい！」

そんなあなた!!

ぜひ、『有償在宅福祉サービス たのみま処』にご登録ください!

お問い合わせ先

山形村ボランティアセンター（山形村社会福祉協議会） 電話：97-2102 担当：吉田・鈴木

まほろば（社協広報／第94号）令和3年12月24日発行

- 発行所 社会福祉法人 **山形村社会福祉協議会**（山形村保健福祉センターいちいの里内）
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108
ホームページアドレス <http://poponet-yamagata.or.jp/>
- 「まほろば」に掲載せられなかった記事についてはホームページに掲載されていますので是非ご覧ください。

この印刷物は植物油インキおよび再生紙を使用しています。